

公益財団法人日本ソフトテニス連盟

技術等級制度規程

(目的)

第 1 条 技術等級制度は、つぎの目的をもって行うものとする。

- (1) ソフトテニスを愛好する者に自己の実力を確かめ、更に技術を向上するための目標を与える。
- (2) ソフトテニスの指導体系を確立する。
- (3) 公益財団法人日本ソフトテニス連盟（以下「日本連盟」という）及び各加盟団体（以下支部という）の健全な財政を確立する。

(等級区分)

第 2 条 等級区分を次のとおりとする。

(1) 技術等級

Ma s t e r (Ma)

E x p e r t (Ex)

S e n i o r E x p e r t (S-Ex)

S p e c i a l i s t (Sp)

S e n i o r S p e c i a l i s t (S-Sp)

1 級

2 級

3 級

4 級

SeniorExpert(S-Ex)・Senior-Specialist(S-Sp) は、各種大会における年齢種別が 45 歳以上の部に適用される。

Master(Ma) は、Expert(Ex)・SeniorExpert(S-Ex) あるいは Specialist(Sp)・Senior Specialist(S-Sp) 保持者の中で、特にソフトテニス界に功労のあった 50 歳以上の者とし、支部からの推薦に基づき、日本連盟が認定する。

(2) 指導資格

指導資格を次のとおりとする。

名誉指導員

(受検資格)

第 3 条 次条に規定する技術等級及び指導資格の認定を受けようとする者は、日本連盟に会員登録した者でなければならない。

(認定方法)

第 4 条 技術等級の認定は、次の各号に掲げる方法により別表第 1 (技術等級検定基準)

又は別表第 2 (大会実績に基づく認定基準) に従い、支部からの推薦に基づき日本連盟が認定する。なお、大会実績による申請は、当該大会終了後 1 年以内とする。

- (1) Expert、Senior-Expert 及び Specialist、Senior-Specialist は大会実績のみにより認定する。
- (2) 1 級～4 級までは検定会又は大会実績により認定する。
- (3) 名誉指導員は、ソフトテニス界に功労のあった 45 歳以上の者とし、支部からの推薦に基づき日本連盟が認定する。

(検定会)

第 5 条 技術等級の検定会は、各支部において、随時開催する。

2 検定会は、別表第 1 に定める検定基準に基づき、検定員が実施する。この場合において、検定員は補助員を依頼することができる。

(認定手続)

第 6 条 日本連盟及び各支部は、第 5 条の規定に基づき技術等級あるいは名誉指導員資格を認定したときは、速やかに技術等級認定登録者名簿に登録するとともに、認定者に対し「認定証」及び「認定バッジ」等を交付する。

(検定員)

第 7 条 検定員は、日本連盟「技術等級検定員規程」に該当する者なることができる。

(変更届)

第 8 条 認定を受けた技術等級又は指導資格に係る登録事項に変更が生じた場合は、速やかに「登録事項変更届」を所属支部に提出しなければならない。

(附 則)

1. この規程は、昭和 49 年 4 月 1 日より施行する。
2. この規程は、昭和 50 年 4 月 1 日より改訂する。
3. この規程は、昭和 51 年 5 月 1 日より改訂する。
4. この規程は、昭和 52 年 5 月 1 日より改訂する。
5. この規程は、昭和 53 年 6 月 1 日より改訂する。
6. この規程は、昭和 54 年 1 月 1 日より改訂する。
7. この規程は、平成 6 年 6 月 4 日より改訂する。

8. この規程は、平成 8 年 4 月 1 日より改訂する。
9. この規程は、平成 10 年 4 月 1 日より改訂する。
10. この規程は、平成 21 年 4 月 1 日より改訂する。
11. この規程は、日本ソフトテニス連盟が公益財団法人としての設立の登記の日(平成24年4月1日)より施行する。
12. この規程は、平成 25 年 4 月 1 日より改訂する。
13. この規程は、平成 29 年 4 月 1 日より改訂する。
14. この規程は、平成 31 年 4 月 1 日より改訂する。
15. この規程は、令和 元年 6 月 1 日より改訂する。
16. この規程は、令和 2 年 2 月 26 日より改訂する。
17. この規程は、令和 3 年 4 月 1 日より改訂する。
18. この規程は、令和 4 年 4 月 1 日より改訂する。

(別表第1)

技術等級検定基準

- a 技術等級の検定会による検定種目および得点を、次のとおりとする。
- b 検定は1～2級と3～4級に区別して行う。

／等級 検定種目／	1 級		得 点	2 級		得 点	3 級		得 点	4 級		得 点
	必修	選択		必修	選択		必修	選択		必修	選択	
A シュート	○		10	○		10	○		10	○		10
B ロビング		○	10		○	10		○	10			
C ト ッ プ		○	10		○	10						
D レシーブ	○		10	○		10	○		10	○		10
E ボレー		○	10		○	10		○	10			
F スマッシュ		○	10		○	10						
G サービス	○		10	○		10	○		10	○		10
H検定員主観	○		20	○		20	○		10	○		10
得 点 合 計	50	20	70	50	20	70	40	10	50	40		40
合 計 基 準 点			50			40			30			20

(別表第2)

大会実績に基づく認定基準

種別	大会名	Ex	Sp	1 級	2 級	3 級	4 級
一 般 男 女	全日本選手権大会	32	*大会の権威:参加資格をSp以上とする。				
	全日本社会人選手権大会	16	32				
	全日本ミックス選手権大会	16	32				
	全日本シングルス選手権大会	16	32				
	東・西日本選手権大会	8	16	32			
	各ブロック選手権大会	4	8	16			
	各ブロックシングルス選手権大会	4	8	16			
	各支部選手権大会		4	8	32		出場
	各支部シングルス選手権大会		4	8	32		出場
	各支部選手権大会地区予選					64	出場
35	全日本社会人選手権大会	8	16	32			
	全日本ミックス選手権大会	8	16	32			
	東・西日本選手権大会	4	8	16			
	各ブロック選手権大会		2	8			
	各支部選手権大会			4	16		出場
	各支部選手権大会地区大会予選					64	出場

45	全日本社会人選手権大会	4	8	16	32		
	全日本ミックス選手権大会	4	8	16	32		
	東・西日本選手権大会	2	4	8	16		
	各ブロック選手権大会		2	4	8	16	出場
	各支部選手権大会			2	8	16	出場
	各支部選手権大会地区大会予選				2	8	出場
大学	全日本学生選手権大会	8	16	32	64		
	全日本学生シングルス選手権	8	16	32	64		
	東・西日本学生選手権大会	4	8	16	32		
	東・西日本学生シングルス選手権大会	4	8	16	64		
	各ブロック学生選手権大会	2	8	16	64		出場
	各ブロック学生シングルス選手権大会	2	8	16	64		出場
高校	全日本高校選手権大会	4	16	32			
	ハイスクールジャパンカップ(ダブルス)	4	16	32			
	ハイスクールジャパンカップ(シングルス)	4	16	32			
	各ブロック高校選手権大会		4	8			
	各支部高校選手権			4	32		出場
	各支部高校シングルス選手権			4	32		出場
	各支部高校選手権地区予選				8	32	出場
	各支部高校新人戦				16	32	出場
	各支部高校新人戦地区予選				4	16	出場
中学	全国中学校大会		4	8	16		
	都道府県対抗全日本中学生(ダブルス)		4	8	16		出場
	都道府県対抗全日本中学生(シングルス)		4	8	16		出場
	各ブロック中学校選手権大会		2	4	8		
	各支部中学校選手権大会				8	32	
	各支部中学校シングルス選手権大会				8	32	
	各支部中学校選手権大会(地区予選)				2	16	出場
	各支部中学校新人戦				4	32	出場
	各支部中学校新人戦(地区予選)				—	16	出場
小学	全日本小学生選手権			2	8		
	全国小学生大会(5年生の部)				4	16	
	全国小学生大会(4年生以下の部)				2	8	
	全国小学生大会(6年生の部)シングルス			2	8		
	各支部小学生選手権大会				2	8	出場
	各支部小学生シングルス選手権				2	8	出場

	大会						
	各支部小学生選手権大会(地区予選)					4	出場
JOC 杯	U-20ダブルス	2	4				
	U-17ダブルス	2	4				
	U-14ダブルス		2	4			
	U-20シングルス	2	4				
	U-17シングルス	2	4				
	U-14シングルス		2	4			
ジュニア ジャパン カップ	U-20ダブルス	2	4				
	U-17ダブルス	2	4				
	U-14ダブルス		2	4			
	U-20シングルス大会	2	4				
	U-17シングルス大会	2	4				
	U-14シングルス大会		2	4			
《 シニア 関係 》							
		S-Ex	S-Sp	1 級	2 級	3 級	4 級
シ ニ ア	全日本シニア選手権	4	8	16	32		
	全日本ミックス選手権大会	4	8	16	32		
	東・西日本シニア選手権	2	4	8	16		
	各ブロック・シニア選手権		2	4	8	16	
	各支部シニア選手権			2	8	16	出場
	各支部シニア選手権(地区予選)				2	8	出場

(注) : 出場数が15ペア(名)以内の大会には、4級を除き適用しない。4級は出場数に係らず認定できる。

1. 上記の認定基準は、各大会の出場数が最大認定数(1番右側の数字)の2倍以上の場合のみ適用される。
2. 出場数が最大認定数(一番右側の数字)の2倍に満たない場合は、全ての認定数を1/2とする。
3. 出場数が最大認定数(一番右側の数字)の1/2に満たない場合は、全ての認定数を1/4とする。
4. 各支部における選手権大会と同等レベルの大会は、選手権大会の認定基準により認定できる。

(特記): 各都道府県が指定した全日本選手権大会予選会(兼ねる大会を含む)においてのみ、参加数に関わらず各枠内の権利を得た選手にSp認定が適用される。ただし、該当大会にSp以上の資格をもった選手が出場枠数以上参加していること。

公益財団法人日本ソフトテニス連盟

技術等級検定員規程

(任 務)

第 1 条

- (1) 検定員は、技術等級の検定会を実施し、検定結果の判定と指導を行う。
- (2) 検定員は、支部を通して日本連盟に検定会の内容及び結果を報告するとともに、認定希望者からの「認定登録申請書」を取りまとめ提出する。
- (3) 検定員は、受検者からの所定の受検料及び認定料を徴収し、受領証を発行するとともに所定の手続きにより入金する。

(検定員)

第 2 条

- (1) 検定員は、名誉指導員及び（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格を有し、且つ技術等級制度のSpecialist（S-Sp含む）以上の資格を有する者の中から各支部の会長が認定する。
- (2) 上記に関わらず、3級、4級の検定については、各支部の会長が適切と認める者を認定することができる。

(研 修)

第 3 条 検定員は、本制度の目的に従い常に研修に努めなければならない。

(費用の支給)

第 4 条 支部の検定員が検定会を開催し、その内容および結果を報告し、認定手続きを取ったときは、次のとおり費用を支給する。

(1) 検 定 員

検定費として、1日10,000円以内とし、別途旅費を支給する。

(2) 補 助 員

検定補助費として、1日5,000円以内とし、別途旅費を支給する。

- (3) 上記(1)(2)の費用は、当該検定会の受検料総額から検定会開催の諸経費を差し引いた金額の範囲を限度とする。

附 則

1. この規程は、昭和49年4月1日から施行する。
2. この規程は、平成 8年4月1日から施行する。
3. この規程は、平成21年4月1日から施行する。

4. この規程は、本連盟が公益財団法人としての設立の登記の日（平成24年4月1日）より施行する。
5. この規程は、令和3年4月1日から改訂する。

公益財団法人日本ソフトテニス連盟

技術等級制度規程施行細則

(技術等級制度の運営)

第 1 条 本制度は理事会の承認を得て、公益財団法人日本ソフトテニス連盟・競技委員会（技術等c制度部会）が運営を統轄する。

(競技委員会（技術等級制度部会）の任務)

第 2 条 理事会の承認に基づく「技術等級制度規程」・「技術等級検定基準」・「技術等級検定員規程」・「技術等級制度規程施行細則」により、本制度を執行する。

主な任務は、次のとおりとする。

- (1) 各等級受検者と大会実績に基づく申請者の認定。
- (2) 認定証・認定バッジの交付。
- (3) 各等級受検者の名簿管理。
- (4) 支部からの認定料の受領、受領証の発行および支部への還元。
- (5) 理事会の承認に基づく、本制度諸規程の改正。

(各支部の任務)

第 3 条 本制度による検定を実施する。

主な任務は、次のとおりとする。

- (1) 検定会の開催と検定結果の報告。
- (2) 大会実績に基づく、申請の確認と報告。
- (3) 申請支部変更の確認と報告。
- (4) 各等級受検者の名簿管理。
- (5) 受検料・申請料・申請支部変更料・認定料の徴収・受領証の発行および認定料の日本連盟への入金。
- (6) 認定証・認定バッジの配布。
- (7) 検定員の認定。

(受検料・申請料および認定料)

第 4 条

(1) 受 検 料 (検定会による支部止まりの費用)

1 級・2 級 3, 0 0 0 円

3 級 1, 5 0 0 円

4 級 1, 0 0 0 円

(2) 申 請 料 (大会実績による、支部止まりの費用)

Expert, Senior-Expert, Specialist, Senior-Specialist, 1級, 2級 1, 000円
 3級・4級 500円

(3) 認定料（認定証・認定バッジ等の実費を含む）

	日本連盟	支部	合計
M a s t e r	20,000円	10,000円	30,000円
E x p e r t	5,000円	4,000円	9,000円
S e n i o r - E x p e r t	5,000円	4,000円	9,000円
S p e c i a l i s t	3,000円	3,000円	6,000円
S e n i o r - S p e c i a l i s t	3,000円	3,000円	6,000円
1級	1,500円	1,500円	3,000円
2級	1,000円	1,000円	2,000円
3級	500円	500円	1,000円
4級	500円	500円	1,000円
名誉指導員	20,000円	10,000円	30,000円

(4) その他の費用

変更手続 一律 300円

認定証 一律 100円

バッジ 1級～4級 200円

M a 2, 000円

E x ・ S - E x 1, 000円

S p ・ S - S p 1, 000円

第 5 条 技術等級制度に関する書類の様式を別表のとおりとする。

（付 則）

この規程は、昭和49年4月1日から施行する。

この規程は、昭和50年4月1日から改訂する。

この規程は、昭和51年5月1日から改訂する。

この規程は、昭和52年5月1日から改訂する。

この規程は、昭和53年6月1日から改訂する。

この規程は、昭和54年1月1日から改訂する。

この規程は、平成6年6月4日から改訂する。

この規程は、平成8年4月1日から改訂する。

この規程は、平成10年4月1日から改訂する。

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

この規程は、日本ソフトテニス連盟が公益財団法人としての設立の登記の日（平成24年4月1日）から施行する。

この規程は、令和3年4月1日から改訂する。